

四 伐採順序
五 造林ノ方法

六 施業上必要ナル施設ノ企畫

第九十一條 第八十三條、第八十四條及第八十六條乃至第八十九條ノ規定ハ施業案ノ檢訂ニ之ヲ準用ス但シ前條各號ノ事項ニ異動ナキ場合ニ於テハ第八十七條ノ規定ニ依ル報告ヲ要セス

第九十二條 研伐照査簿、造林照査簿及施業沿革史ノ記載ハ小林區署長ヲシテ之ヲ爲サシムヘシ

第九十三條 施業案ノ臨時檢訂ヲ行ハムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ第十號樣式ニ準シタル事業豫定表ヲ添ヘ認可ヲ受クヘシ

第九十四條 施業案ノ實行上一部ノ修正ヲ必要トスル場合ニ於テハ其ノ修正ヲ要スル事由ヲ具シ修正圖案簿表ヲ添ヘ認可ヲ受クヘシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一 收穫豫定案ノ不實行箇所ヲ後施業期ニ繰下ケムトスルトキ

二 施業案實行ノ都合ニ依リ第七十條各號ノ計畫ヲ變更セムトスルトキ

三 施業案ノ實行ニ必要ナル注意事項ヲ追補セムトスルトキ

四 國有林野事業規程第五條各號ノ一ニ該當スルトキ

前項第三號ノ場合ニ於テハ其ノ都度追補シタル注意事項ヲ報告スヘシ

第九十五條 毎年度施行スヘキ施業案ノ編成及檢訂業務ノ豫定ハ第十號樣式ニ依リ前年度十二月末日迄ニ之ヲ報告スヘシ

第九十六條 施業案編成及檢訂業務ノ成績ハ第十一號樣式ニ依リ一年度分ヲ取纏メ翌年度六月末日迄ニ之ヲ報告スヘシ

第九十七條 本令ハ大正三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

第九十八條 明治三十五年(四月)訓令第六號、明治三十九年(四月)內訓林發第九十一號及明治四十三

年(六月)達林第二千八百十號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

附 則

○國有林野產物賣拂規則

農商務省令第十三號
國有林野產物賣拂規則左ノ通定ム

大正四年七月二十四日

農 商 務 大 臣

第一章 第一章

通 則

第一條 國有林野產物ノ賣拂ハ法令ニ別段ノ定アルモノノ外本令ニ依リ之ヲ行フ

前項ノ賣拂ニハ注文ニ依リ產物ニ加工シテ供給スル場合ヲ包含ス

第二條 買受人ノ代理人ハ其ノ代理權ヲ證スル書面ヲ當該林區署ニ差出スヘシ

第三條 二人以上共同シテ買受ヲ爲サムトスルトキハ一人ノ代理人ヲ定メ之ヲ當該林區署ニ届出ツヘシ其ノ届出ナキトキハ各人互ニ代理スルモノト看做ス

共同シテ買受ヲ爲ス者ハ各自連帶シテ其ノ債務ヲ負擔スルモノト看做ス

第四條 本人又ハ代理人住所ヲ變更シタルトキハ之ヲ當該林區署ニ届出ツヘシ代理人ノ變更又ハ代理權ノ變更若ハ消滅アリタルトキ亦同シ

前項ノ届出ナキトキハ其ノ變更又ハ消滅ヲ以テ當該林區署ニ對抗スルコトヲ得ス

第五條 市町村買受ノ申込ヲ爲ストキハ買受ニ關スル市町村會ノ決議書ノ謄本ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ市町村以外ノ公共團體ニ於テ買受ノ申込ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六條 公用又ハ公益ニ關スル事業ノ爲買受ノ申込ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ起業力官廳ノ許可ヲ要スルモノナルトキハ其ノ許可書ノ謄本ヲ差出スヘシ

第七條 神社買受ヲ爲サムトスルトキハ官國幣社ニ在リテハ神職ヨリ其ノ他ノ神社ニ在リテハ神職及

氏子又ハ信徒ノ總代連印シテ其ノ申込ヲ爲スヘシ
 寺院又ハ佛堂買受ヲ爲サムトスルトキハ住職又ハ受持僧侶及檀徒又ハ信徒ノ總代連印シ寺院ニ在リ
 テハ管長ノ買受認可書ヲ添附シテ其ノ申込ヲ爲スヘシ
 第八條 賣拂物件ノ數量及材積計算ノ方法ハ政府ノ定ムル所ニ依ル
 第九條 研伐若クハ採取ノ個所面積又ハ物件ノ寸尺數量若ハ品質ニ錯誤アルトキト雖買受人ハ特約アルニアラサレハ之ニ關シ異議ヲ述フルコトヲ得ス物件ニ隠レタル瑕疵アルトキ亦同シ
 第十條 立木竹ノ賣拂ニハ特約アル場合ノ外根株ヲ包含セス
 第十一條 買受人ハ當該林区署長ノ認可ヲ得ルニ非サレハ引渡又ハ採取許可以前ノ物件ニ關シ一切ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第二章

競争契約

第十二條 郵便ヲ以テ競争入札ヲ爲スコトヲ得ル場合ニ於テハ郵便入札書ハ其ノ封書ヲ二重ト爲シ内封中ニ入札書ヲ封入シ外封中ニ入札保證金タルヘキ郵便爲替證書又ハ金庫ノ保管證書ヲ封入シ書留郵便又ハ配達證明郵便ヲ以テ之ヲ差出スヘシ
 前項ノ場合ニ於テ入札物件ノ賣拂番號アルトキハ内封ノ封皮ニ之ヲ記載スヘシ
 第十三條 前條ノ保管證書ハ便宜ノ林区署ニ就キ寄託通知書ノ交付ヲ受ケタル後指定金庫ニ於テ之ヲ受ケヘシ
 第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル入札ハ之ヲ無効トス
 一 賣拂番號、入札金額又ハ氏名若ハ名稱ノ確認シ難キトキ
 二 捺印ナキトキ
 三 入札保證金ナキトキ又ハ不足ナルトキ
 四 郵便入札書開札ノ時限又ハ場所ニ到達セサルトキ
 第十五條 落札人定リタルトキハ契約擔任官吏ハ直ニ其ノ旨ヲ落札人ニ通知スヘシ

第十六條 入札保證金ハ入札ヲ終リ又ハ入札ヲ取消シタル後之ヲ還付ス但シ落札人ニ對シテハ契約締結ノ際之ヲ還付シ又ハ契約保證金ニ充當ス
 第十七條 契約擔任官吏入札人ノ連合不隠ノ舉動其ノ他ノ事由ニ依リ正當ニ入札ヲ行フコト能ハスト認ムルトキハ何時ニテモ其ノ入札ヲ取消スコトヲ得
 第十八條 落札人契約擔任官吏ノ指定シタル期間内ニ契約ヲ締結セサルトキハ落札ハ之ヲ取消スコトアルヘシ
 前項ノ規定ニ依リ落札ヲ取消シタルトキハ入札保證金ハ之ヲ政府ノ所得トス

第三章

隨意契約

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當シ信用確實ナルモノハ明治三十二年勅令第三百六十三號第十號ノ二又第十號ノ三ノ規定ニ依リ隨意契約ヲ以テ國有林野產物ヲ買受クル資格ヲ有ス
 一 會社ニシテ一ヶ年以上其ノ買受ケムトスル產物ヲ原料トスル重要製產品ノ製造業ヲ營ミ資本金三萬圓以上ヲ有スル者
 二 會社ニ非スシテ一ヶ年以上其ノ買受ケムトスル產物ヲ原料トスル重要製產品ノ製造業ヲ營ミ一ヶ年ノ賣上金額二千圓以上ナル者
 三 買受ケムトスル產物ヲ原料トスル輸出物品ノ製造業ヲ營ミ資本金三萬圓以上ヲ有スル者
 四 粗製樟腦、樟腦油專賣法ニ依リ許可ヲ受ケタル粗製樟腦、樟腦油製造業者
 五 會社ニシテ二ヶ年以上木材賣買ノ業ヲ營ミ資本金五萬圓以上ヲ有スル者
 六 會社ニ非スシテ二ヶ年以上木材賣買ノ業ヲ營ミ營業稅五圓以上ヲ納ムル者
 第二十條 前條第一號乃至第三號ノ重要製產品又ハ輸出物品トハ左ニ掲グル物ヲ云フ
 一 紙、燐寸、經木、稿、丹寧、乾溜液、漆器、染料、藥品、各其ノ材料、椎茸、鐵道枕木、包裝箱、及其ノ箱板

二 輸出向ノ木材、板類、樽材、竹材、竹製品、木炭、器具機械及其ノ材料

第二十一條 賣拂ヲ受ケムトスル者ハ便宜ノ林區署又ハ保護區官舎ニ就キ買受申込用紙ノ交付ヲ受ケルコトヲ得

第二十二條 明治三十二年勅令第三百六十三號第一號第二號又ハ第六號ノ規定ニ依リ建築又ハ土木工事ノ爲買受ヲ爲サムトスル者ハ其ノ申込書ニ工事ノ設計圖書ヲ添付スヘシ但シ急迫ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル物件ニ付大林區署長ニ於テ必要ト認メタルトキハ當該事業者ニ其ノ年期賣拂ヲ爲スコトヲ得

一 工事ノ原料トスル潤葉樹ノ立木又ハ製品

二 鑛業用薪炭ノ原料トスル立木

三 製紙ノ原料トスル立木又ハ製品

四 前各號ノ物件ト共ニ賣拂フヲ利益トスル混生立木

五 公用又ハ公益ノ爲必要ナル製品

第二十四條 立竹又ハ副産物ニ付林區署長ニ於テ必要ト認メタルトキハ其ノ年期賣拂ヲ爲スコトヲ得

第二十五條 年期賣拂ノ期間ハ五ヶ年ヲ超ユルコトヲ得ス但シ當該林區署長ニ於テ已ムヲ得サル事由アリト認メタルトキハ通算シテ十ヶ年迄之ヲ延長スルコトヲ得

前項ノ期間ノ計算ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第二十六條 立木又ハ製品ノ年期賣拂ヲ受ケムトスル者ハ買受ノ事由事業ノ計畫(必要ノ場合ニハ計畫圖面ヲモ添付スヘシ)其ノ他事業上必要ナル事項ヲ記載シタル調書ヲ作り之ヲ買受申込書ニ添付スヘシ

契約締結ノ後前項ノ調書ニ記載シタル計畫ヲ變更セムトスルトキハ當該林區署長ノ承認ヲ受ケヘシ

第二十七條 即時ニ買受契約ヲ締結セムトスルトキハ申込書又ハ承諾書ヲ當該署長ノ承認ヲ受ケヘシ

第二十八條 指定期間内ニ契約書ヲ作成セス又ハ契約保證金ヲ納付セザルトキハ賣拂ノ承諾ヲ取消ス

コトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ違約金トシテ申込代金ノ百分ノ十二相當スル金額ヲ徴收ス

年期賣拂ニ在リテハ其ノ年期間ヲ通シタル申込總代金ヲ以テ前項ノ申込代金トス

第二十九條 明治三十二年勅令第三百六十三號第一號、第二號、第六號、第七號、第九號又ハ第十號ノ二ノ規定ニ依リ賣拂ヲ受ケタル者ハ當該林區署長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ目的以外ニ物件ヲ使用、消費又ハ讓渡スルコトヲ得ス物件ヲ擔保ニ供スルコト亦同シ

買受人物件ノ引渡ヲ受ケタル後前項ノ規定ニ違反シタルトキハ違約金トシテ賣拂代金ノ百分ノ二十ニ相當スル金額ヲ徴收ス

分割引渡又ハ年期賣拂ノ場合ニ於テハ物件ノ最終ノ引渡及契約總代金ヲ以テ前項ノ引渡及賣拂代金ト看做ス

第四章 代金納付

第三十條 賣拂代金ノ納付期限ハ物件引渡以前ニ於テ引渡物件ニ相當スル代金ニ付當該林區署長之ヲ定ム

第三十一條 明治四十二年勅令第三百十八號ノ規定ニ依リ物件ノ引渡以後ニ於テ代金ヲ納付スルコトヲ許可スル場合ニ於テハ代金ハ數回ニ分割シテ之ヲ納付セシムルコトヲ妨ケス

分割引渡ノ場合ニ於テ延納ヲ許可シタルトキハ其ノ擔保ハ物件引渡ノ都度之ヲ提供セシムルコトヲ得

第三十二條 代金延納ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ契約締結ノ際其ノ意思ヲ表示スヘシ但シ年期賣拂ノ場合ニ於テハ各年度ノ最初ノ代金納付期限前其ノ意思ヲ表示スヘシ

第三十三條 代金延納ノ期間ハ擔保提供期限ノ翌日ヨリ之ヲ起算ス但シ擔保ヲ免除シタルトキハ契約成立ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第三十四條 代金延納ノ擔保ト爲スコトヲ得ルモノハ左ノ有價證券ニ限ル

國債證券、帝國鐵道證券、大藏證券、勸業債券、貯蓄債券、拓殖債券、農工債券、興業債券、地方債證券、日本銀行株券、橫濱正金銀行株券、日本興業銀行株券、日本勸業銀行株券、北海道拓殖銀行株券、府縣農工銀行株券、臺灣銀行株券、朝鮮銀行株券、日本郵船會社株券、大阪商船會社株券、南滿洲鐵道會社株券

第三十五條

擔保品ノ價格ハ明治四十一年勅令第二百八十七號ニ掲グル有價證券ヲ除クノ外時價ノ九割ヲ以テ之ヲ算定ス

第三十六條

延納代金ノ一部ヲ納付シタルトキハ其ノ金額ニ相當スル擔保品ハ之ヲ還付スルコトヲ得

第三十七條

延納代金ノ分納ヲ許可シタル場合ニ於テ已ムヲ得サル事由ニ依リ其ノ納期ニ代金ヲ納付スルコト能ハサルトキハ買受人ノ請求ニ依リ相當期間ヲ指定シテ其ノ納付ヲ猶豫スルコトヲ得但シ其ノ延納代金ノ最後ノ納期ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十八條

買受人納期ニ延納代金ヲ納付セサルトキハ其ノ擔保品ノ全部又ハ一部ヲ賣却シ其ノ賣却代金ヲ以テ順次ニ賣却費用、前條ノ利息及賣却代金ニ充當スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ剩餘アルトキハ之ヲ買受人ニ還付シ不足アルトキハ之ヲ追徴スヘシ但シ納期未達ノモノアリタルトキハ擔保品賣却代金ノ剩餘ハ之ヲ金庫ニ供託シ納期到來ノ際其ノ代金ニ充當スルコトヲ得

第三十九條

現金ヲ以テ納付シタル契約保證金ハ之ヲ代金ニ充當スルコトヲ得但シ年賣拂、分割引渡又ハ代金延納ヲ許可シタル競争契約ノ場合ニ於テハ全部ノ代金ヲ完納スル際ニ非サルハ之ヲ充當スルコトヲ得ス

第五節

但シ競争契約ノ場合ニ於テハ此ノ充當ヲ爲スコトヲ得ス
代金延納ヲ許可シタル競争契約保證金有價證券ナルトキハ全部ノ代金ヲ完納スル際ニ限り其ノ賣却代金ヲ以テ賣却費用及前條ノ追徴金ニ充當スルコトヲ得

第四十條

賣拂物件ノ引渡又ハ採取許可ハ之ニ對スル代金ヲ納付シ又ハ其ノ擔保品ヲ提供シタル後ニ非サルハ之ヲ爲スコトヲ得ス但官廳ニ賣拂フ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十一條

物件ノ引渡ハ買受人立會ノ上ニ爲ス但シ買受人立會ヲ爲サス又ハ之ヲ爲スコト能ハサルトキハ物件引渡ノ通知ヲ發スルニ依リ引渡ヲ爲シタルモノト看做ス

第四十二條

分割引渡ハ製品ノ賣拂ノ場合ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

第四十三條

年賣拂ノ場合ニ於テ各年度引渡スヘキ物件ノ種類數量及斫伐ヶ所ハ當該林區署ノ事業計畫ニ依リ之ヲ定ム

第四十四條

賣拂物件ノ搬出又ハ採取ノ期間ハ引渡ヲ終リ又ハ採取ヲ許可シタル日ヨリ起算シ左ノ期間内ニ於テ當該林區署長之ヲ定ム

- 一 立木ニ付テハ二ヶ年但シ製炭原木又ハ之ト共ニ賣拂フ混生用材木ニ付テハ三ヶ年
- 二 立竹ニ就テハ六ヶ月
- 三 製品ニ付テハ二ヶ月但シ政府ノ事業上支障ナキトキハ六ヶ月

四 副産物ニ付テハ一年
第四十五條 初定期間内ニ搬出又ハ採取ヲ終ラサル場合ニ於テ買受人延期ノ出願ヲ爲ストキハ已ムチ
得サル場合ヲ除ク外相當期間ヲ指定シテ之ヲ許可スヘシ但シ初定期間満了ノ翌日ヨリ起算シテ一ケ
年ヲ超エ又ハ初定期間ノ半ヲ超ユルコトヲ得ス
再度ニ巨ル延期ノ出願ハ之ヲ許可セズ

第四十六條 延期期間ニ對シテハ許可前違約金トシテ左ノ金額ヲ徵收ス
一 代金百圓以上ナルトキハ一日ニ付其ノ二分ノ一ニ相當スル金額
二 代金百圓未満ナルトキハ一日ニ付金五錢

初定期間満了ノ翌日迄ニ延期ノ出願ヲ爲サルトキハ其ノ日ヨリ出願ノ前日又ハ搬出採取済届出ノ
日ノ前日迄ノ期間ニ對シテハ前項ニ定ムル金額ノ二倍ヲ徵收ス

第四十七條 前條ノ違約金ハ分割引渡ノ場合ニ於テハ當該分割引渡物件ノ代金、年期賣拂ニシテ分割
引渡ヲ爲サル場合ニ於テハ當該年度引渡物件ノ代金ヲ基礎トシテ之ヲ算定ス

第四十八條 不可抗力ニ依リ搬出又ハ採取ヲ爲スコト能ハサリシ期間ハ遲滞ナク其ノ事由ヲ具シ當該
林區署長ノ承認ヲ受ケタルトキニ限り之ヲ搬出又ハ採取ノ期間ニ算入セス

第四十九條 買受人搬出又ハ採取ヲ終ハリタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ當該林區署ニ届出ツヘシ
第五十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ搬出又ハ採取未済ノ物件ハ之ヲ政府ノ所得トス
一 搬取又ハ採取ノ延期期間ヲ經過シタルトキ
二 延期ノ出願ヲ爲サスシテ搬出又ハ採取ノ初定期間満了ノ翌日ヨリ起算シ三十日ヲ經過シ又ハ初
定期間ノ半ヲ超エタルトキ

第五十一條 買受人搬出又ハ採取未済ノ物件ヲ讓渡シタルトキハ當該林區署ニ對スル讓渡人ノ權利義
務ハ讓受人ノ承継スル旨讓受人ト連印シテ當該林區署ニ届出ツヘシ
前項ノ場合ニ於テ讓受人其ノ義務ヲ履行セサルトキハ讓渡人ニ對シ其ノ履行ヲ請求スルコトヲ得

第五十二條 國有林野内ニ於テ研伐、搬出、採取其ノ他買受ヨリ生スル行為ヲ爲スニ當リ法令又ハ契
約ニ違反スル所爲アリト認めタルトキハ當該林區署長ハ其ノ作業ノ中止ヲ命シ物件ノ處分ヲ禁止ス
ルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ買受人ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第六章 契約ノ解除及變更

第五十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ當該林區署長ハ賣拂契約ヲ解除スルコトヲ得
一 期間内ニ代金ノ納付又ハ代金延納ニ對スル擔保ノ提供ヲ爲ササルトキ
二 第十一條第二十六條第二項又ハ第二十九條ノ規定ニ違反シタルトキ但シ第二十九條第二項ノ場
合ハ此ノ限ニ在ラズ

三 國土保安上又ハ森林更新上ノ必要ニ基キ研伐搬出又ハ採取ノ方法其ノ他ノ事項ニ關シ特ニ契約
ニ於テ指定シ又ハ禁止シタル場合ニ於テ買受人ノ違反シタルトキ
第五十四條 前條ノ規定ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ搬出又ハ採取未済ノ物件ハ政府ノ所得トス此
ノ場合ニ於テハ之ニ相當スル代金ハ之ヲ還付スルコトアルヘシ

第五十五條 代金延納ノ擔保ハ前項ノ未納代金ヲ納付シタルトキ之ヲ還付ス
代金延納ノ擔保ハ前項ノ未納代金ヲ納付シタル期間内ニ第二項ノ未納代金ヲ納付セサル場合ニ之ヲ
第三十八條ノ規定ハ當該林區署長ノ指定シタル期間内ニ第二項ノ未納代金ヲ納付セサル場合ニ之ヲ
準用ス

第五十六條 第五十三條ノ規定ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ契約保證金ハ之ヲ政府ノ所得トス契約
保證金ナキトキハ違約金トシテ賣拂代金ノ百分ノ十二ニ相當スル金額ヲ徵收ス

第五十七條 分割引渡又ハ年期賣拂ノ場合ニ於テハ前項ノ賣拂代金トス
第五十八條 賣拂物件注文ニ依リ特殊ノ加工品ナル場合ニ於テ契約保證金又ハ違約金ヲ以テ第五十三
條ノ規定ニ依リ契約ヲ解除シタル爲生シタル損害ヲ償フコト能ハサルトキハ其ノ不足額ニ對シ賠償

金ヲ徵收ス

第五十七條 法令ノ結果ニ依リ又ハ公用若ハ公益ニ關スル原因其ノ他已ムヲ得サル事由ニ依リ契約ヲ履行スルコト能ハサルトキハ當該林區署長ハ斫伐若クハ採取ノ停止ヲ命ジ其ノ他契約ノ變更又ハ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ買受人ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第五十八條 前條ノ規定ニ依リ契約ヲ變更又ハ解除シタルトキハ、斫伐搬出又ハ採取ヲ爲スコトヲ得サルニ至リタル物件ハ政府ノ所得トシ之ニ相當スル代金ハ之ヲ還付ス但シ採取ノ季節アル副産物ニシテ其ノ季節ヲ經過シタルモノニ付テハ代金ヲ還付セス

代金延納ヲ許可シタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ還付スヘキ相當代金ヲ控除シ未納ニ屬スル代金ヲ其ノ納期ニ納付セシム

第三十六條乃至第三十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ於テ代金延納ノ擔保ニ之ヲ適用ス

第五十九條 買受人ノ施シタル國有林野内ノ設備ハ其ノ使用ヲ終リ又ハ契約ヲ解除シタル場合ニ於テ買受人ハ當該林區署長ノ指定シタル期間内ニ之ヲ收去シ土地ヲ原狀ニ復スヘシ但シ契約ニ別段ノ定アルトキ又ハ當該林區署長ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

買受人前項ノ義務ヲ怠リタル爲當該林區署長ニ於テ營林上障礙ヲ生スルノ虞アリト認ムルトキハ違約金トシテ原狀回復ニ要スル費用ノ二倍ニ相當スル金額ヲ徵收ス

第六十條 賣拂ニ依リ指定シタル期間内ニ收去ヲ終ラサル設備ハ之ヲ政府ノ所得トス

第六十條 賣拂ニ附帶シテ國有林野ノ使用又ハ貸付ヲ許可シタル場合ニ於テ賣拂契約ヲ變更又ハ解除シタルトキハ當該林區署長ハ其ノ使用ヲ禁止シ又ハ貸付ヲ解除スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ買受人ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得

第六十一條 本令ハ大正四年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六十二條 本令施行前締結シタル契約ニ付テハ仍從前ノ規定ヲ適用ス

第六十三條 國有林野產物賣拂規則、國有林野主產物年報賣拂規則、國有林野產物製品賣拂規則、國有林野產物製品年報賣拂規則、國有林野、產物及製品入札規則、國有林野、產物及製品賣拂代金延納規則明治三十七年省令第三號明治四十一年省令第二十一號及明治三十九年省令第二十五號中產物ノ賣拂ニ關スル規定ハ之ヲ廢止ス

附則

○不要存置國有林野整理處分規則

農商務省令第十四號
不要存置國有林野整理處分規則左ノ通定ム
大正四年四月七月二十四日

農 商 務 大 臣

第一章 賣 拂

第一條 國有林野ヲ國有林野法第八條ノ規定ニ依リ隨意契約ヲ以テ賣拂ハムトスルトキハ當該林區署長ハ其ノ旨ヲ官報並ニ林野ノ屬スル大小林區署、郡市役所、町村役場ニ揭示ス但シ當該林區署長ニ於テ其ノ必要ナシト認メタルトキハ小林區署、市役所、町村役場ノ揭示ニ止ムルコトヲ得

第三條 第一項第一ノ順位ニ該當スル者ニ賣拂ハムトスルトキハ直接之ニ通告シテ前項ノ揭示ヲ省略スルコトヲ得

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ國有林野法第八條條四號ノ緣故者トス

一 部分林ニ在リテハ其ノ分收ノ權利ヲ有スル者

二 官地民木ノ森林ニ在リテハ其ノ樹木ノ所有者

三 獻地又ハ獻植ノ林野ニ在リテハ其ノ獻納者

四 產物ノ採取又ハ土地使用ノ慣行アリタル林野ニ在リテハ其ノ採取者又ハ使用者

五 城址ニ在リテハ其ノ舊藩主
 六 神祠、佛堂、墓碑其ノ他ノ遺跡ノ存スル林野ニ在リテハ其ノ遺跡ニ緣故アル者
 七 古記社傳又ハ歴史ノ證スル處ニ依リ社寺ニ緣故アル林野ニ在リテハ其ノ社寺
 八 鑛業法第五十六條ニ掲グル目的ノ爲使用セシメタル林野ニ在リテハ其ノ採掘權者
 九 保安林ニ在リテハ其ノ直接利害關係者又ハ其ノ地籍ノ屬スル市町村
 十 耕地整理施行地區ニ編入シ又ハ耕地整理地區外工事ヲ施スヘキ林野ニ在リテハ耕地整理組合又ハ耕地整理施行者
 前項第一號乃至第四號及第九號ノ緣故カ市町村内ノ部落ニ係ルトキハ其ノ市町村ヲ以テ緣故者トス
 若シ市町村ニ於テ買受ケサルトキハ當該林區署長ハ其ノ緣故部落ノ住民共同ヲ以テ緣故者ト認ムル
 コトヲ得

第三條 隨意契約ニ依リ林野ヲ賣拂フ場合ニ於ケル先買者ノ順位左ノ如シ

- 第一
- (イ) 公用又ハ公益事業ノ爲ニスル者
 - (ロ) 社寺上地ノ森林ニ在リテハ其ノ社寺
 - (ハ) 前條ニ掲グル緣故者
 - (ニ) 道路、溜池、堤塘、溝渠等ノ敷地トシテ貸付シアル林野ニ在リテハ其ノ借地人
 - (ホ) 國有林野法施行以前ニ開墾、牧畜又ハ植樹ノ爲貸付シタル林野ニ在リテハ其ノ事業ニ成功シタル者
- 第二 林野ノ屬スル市町村又ハ其ノ公立小學校ノ基本財産ニ充ツル者
- 第三
- (イ) 林野ノ屬セサル市町村又ハ其ノ公立小學校ノ基本財産ニ充ツル者
 - (ロ) 民有地、道路、河川等ニ介在スル市町村歩以内ノ林野ニ對スル出願者ニシテ前各號ニ該當セザル者

第一順位ノ出願競合シタルトキハ事由ノ輕重ニ依リ順位ヲ定メ其ノ他ノ同一順位ノ出願競合シタルトキハ出願代金ノ額及事由ノ輕重ニ依リ順位ヲ定ム

第四條 國有林野產物賣拂規則第二條乃至第七條ノ規定ハ林野ノ賣拂ニ之ヲ準用ス

第五條 賣拂願書ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ除クノ外第一條ノ揭示又ハ通告ヲ爲シタル後ニ非サレハ之ヲ受理セス

一 公用又ハ公益事業ノ爲ニスルモノ
 二 賣拂豫約ニ基ク事業成功ニ依ルモノ
 三 明治二十三年勅令第九十三號ノ規定ニ依ルモノ

第六條 隨意契約ニ依リ賣拂ヲ出願スル者ハ願書ニ其ノ事由ヲ詳記シ證據書類アルトキハ之ヲ添付スヘシ其ノ公用又ハ公益事業ノ爲ニスル場合ニ在リテハ尙事業設計書ヲ添付スヘシ

第七條 明治二十三年勅令第九十三號ノ規定ニ依リ賣拂ヲ爲ス場合ニ於テハ願書ヲ省畧シテ直ニ賣買ノ契約ヲ爲スコトヲ得

第八條 賣拂ノ許可アリタルトキハ出願者ハ當該林區署長ノ指定シタル期間内ニ契約保證金ヲ納付シ賣買契約書ヲ作り契約者双方各一通ヲ領收シ置クヘシ但シ賣拂代金千圓ニ滿タサル場合ハ請書ヲ以テ契約書ニ代用スルコトヲ得

國有林野產物賣拂規則第二十八條第一項ノ規定ハ出願者ニ於テ前項ノ指定期間ヲ徒過シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ賣拂豫約ニ基ク賣拂ノ場合ニ在リテハ違約金ヲ徵收セス

第九條 國有林野產物賣拂規則第三十九條ノ規定ハ契約保證金ヲ代金又ハ延納擔保ニ充當スル場合ニ之ヲ準用ス

第十條 代金ノ納付期限ハ物件引渡以前ニ於テ當該林區署長之ヲ定ム

第十一條 公共團體又ハ社寺カ明治四十二年勅令第三百十八號ノ規定ニ依リ造林ヲ條件トシテ代金延納ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ延納願書ニ毎年ノ植栽又ハ播種ノ面積、樹種及數量ヲ附記スヘシ

第十二條 前條ノ代金延納ノ許可ヲ受ケタル者毎年ノ植栽又ハ播種ヲ終リタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ當該林区署長ニ報告スヘシ

第十三條 第十一條ノ許可アリタル場合ニ於テ當該林区署長必要ト認ムルトキハ造林事業ノ検査ヲ爲シ植栽又ハ手入ヲ命スルコトヲ得

第十四條 延納ノ許可ヲ受ケタル後ハ當該林区署長ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ第十一條ノ附記事項ヲ變更スルコトヲ得ス

第十五條 延納ノ許可ヲ受ケタル者前條ノ規定ニ違反シ又ハ第十三條ノ検査ヲ拒ミ若ハ其ノ命令ニ從ハサルトキハ當該林区署長ハ延納ニ係ル代金ヲ三十日以内ニ完納セシムルコトヲ得

第十六條 國有林野產物賣拂規則第三十一條第一項、第三十二條乃至第三十四、條第三十五條第一項、第三項、第四項、第三十六條乃至第三十八條ノ規定ハ代金延納ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 國有林野產物賣拂規則第十一條及第四十條第一項ノ規定ハ林野ノ引渡前ノ處分及引渡ノ時期ニ之ヲ準用ス

第十八條 林野ノ引渡ニ付買受人立會ヒタルトキハ領收書ヲ徵收ス否ラサルトキハ引渡ノ通告ヲ發スルニ依リテ引渡ヲ爲シタルモノト看做ス

第十九條 林野ノ附帶義務ハ買受人之ヲ承繼ス

第二十條 國有林野產物賣拂規則第九條ノ規定ハ賣拂物件ノ面積、數量若ハ品質ノ錯誤又ハ隠レタル瑕疵ニ關シ之ヲ準用ス

第二十一條 國有林野產物賣拂規則第五十三條第一號及第二號ノ規定ハ賣買契約ノ解除ニ之ヲ準用ス

第二十二條 國有林野產物賣拂規則第五十五條第一項ノ規定ハ前條ニ依リ契約ヲ解除シタル場合ニ之ヲ準用ス但シ賣拂豫約ニ基ク賣拂ノ場合ニ在リテハ第八條第二項但書及第三項ノ規定ヲ準用ス

第二十三條 特定ノ目的ヲ以テ賣拂ヲ受ケタル者ハ引渡ヲ受ケタル後十ヶ年間ハ當該林区署長ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ林野ヲ其ノ目的以外ニ使用シ又ハ之ヲ讓渡シ若ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス但シ市町村其ノ他ノ公共團體ニ賣拂ヒタル場合ハ此ノ限りニ在ラス

買受人前項ノ規定ニ違反シタルトキハ違約金トシテ賣拂代金ノ半額以内ニ相當スル金額ヲ徵收スルコトヲ得

第二十四條 隨意契約ニ依リ賣拂ヲ了セサル林野ハ競争入札ノ方法ニ依ル賣拂ヲ爲スヘシ

第二十五條 第九條、第十條、第十六條乃至第二十二條及國有林野產物賣拂規則第十二條乃至第十八條ノ規定ハ競争入札ノ方法ニ依リ林野ヲ賣拂フ場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 國有林野法第九條ノ規定ニ依リ賣拂ノ豫約ヲ爲サムトスルキト又ハ第三條第一項ニ掲クル者ニ開墾ノ條件ヲ付シテ即時賣拂ヲ爲サムトスルトキハ其ノ旨ヲ林野ノ屬スル小林區署、市役所、町村役場ニ揭示ス必要ト認ムルトキハ尙別ニ適宜ノ公告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ條件付賣拂ハ一ヶ所面積十町歩ヲ超ユルコトヲ得ス但シ實地ノ形狀又ハ開墾ノ計畫ニ關スル特別ノ事由ニ依リ此ノ制限ニ從ヒ難キトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 賣拂豫約又ハ條件付賣拂ノ願書ハ前條ノ揭示ヲ爲シタル後ニ非サレハ之ヲ受理セス

第二十八條 出願地ト共ニ其ノ產物ヲ買受ケムトスルトキハ賣拂豫約ニ在リテハ別ニ產物賣拂願書ヲ添付シ條件付賣拂ニ在リテハ土地及產物ノ價額ヲ願書ニ區分記載スヘシ

第二十九條 願書ニハ事業方法書及收支豫算書ヲ添付スヘシ

第三十條 第四條ノ規定ハ本章ノ規定ニ依ル出願ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條 事業方法書ハ左ノ事項ヲ具備スルコトヲ要ス

一 開墾ノ方法及順序

二 開墾計畫圖

三 每年開墾スヘキ豫定面積

第三十二條 出願地ニ於テ宅地又ハ防風林若ハ薪炭林ヲ設ケルノ必要アルトキハ其ノ面積ハ出願地總面積ノ十分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス但シ實地ノ狀況ニ依リ其ノ制限ニ從ヒ難キトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條 開墾成功期間ハ十ヶ年ヲ超ユルコトヲ得ス但シ期限ニ至リ己ムヲ得サル事由アリト認ムルトキハ相當期間ノ延長ヲ許スコトヲ得

第三十四條 出願競合スルトキハ左ノ順位ニ依リ許可スヘキモノヲ定ム但シ面積十町歩ヲ超ユル場合ニ於テハ開墾方法ノ良否ヲ斟酌シテ順位ヲ變更スルコトアルヘシ

第一 第三條第一項第一ニ掲グル者ノ出願

第二 林野ノ屬スル市町村ノ出願

第三 林野ノ屬スル部落住民共同ノ出願

第四 其ノ他ノ出願

第三條第二項ノ規定ハ同一順位ノ出願競合スル場合ニ之ヲ準用ス

第二項ノ規定ハ條件付賣拂ノ出願ト競合シタル場合ヲ包含ス

第三十五條 第八條ノ規定ハ出願ニ對シ許可アリタル場合ニ之ヲ準用ス但シ賣拂豫約ニ在リテハ賣拂代金ノ額ニ拘ラス請書ヲ以テ契約書ニ代用スルコトヲ得

第三十六條 第十八條ノ規定ハ本章ニ依ル林野ノ引渡ニ之ヲ準用ス

林野ノ引渡ヲ受ケタルトキハ境界標ヲ建設スヘシ

第三十七條 開墾者ハ當該林區署長ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ第三十一條ノ事業方法ヲ變更シ又ハ其ノ林野ヲ他人ニ貸付シ他ノ目的ニ使用シ若ハ其ノ權利ヲ處分スルコトヲ得ス

第三十八條 當該林區署長必要ト認ムルトキハ開墾事業ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第三十九條 開墾者ハ成功期限後三十日以内ニ賣拂ヲ出願スヘシ

成功期限内ト雖開墾成功シタル區域ハ漸次分割賣拂ヲ爲スコトヲ得

第四十條 開墾者前條第一項ノ期限内ニ賣拂ヲ出願セザルトキハ當該林區署長ハ相當ノ期間ヲ定メテ其ノ出願ヲ催告スヘシ

第四十一條 國有林野產物賣拂規則第五十七條ノ規定ハ賣拂豫約ニ之ヲ準用ス但シ公用又ハ公益事業ニ供スル爲ナルトキハ當該林區署長ハ起業者ヲシテ直接ノ開墾費用ヲ補償セシムヘシ

第四十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當該林區署長ハ賣拂豫約ヲ解除スルコトヲ得

一 開墾者第三十七條ノ規定ニ違反シ又ハ第三十八條ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミタルトキ

二 當該林區署長ニ於テ開墾事業成功ノ見込ナシト認メタルトキ

三 第四十條ノ規定ニ依リ催告ヲ受ケタルモ其ノ期間内ニ出願セザルトキ

成功期限ニ至リ一部不成功地アルトキハ當該林區署長ハ其ノ部分ニ對シ契約ヲ解除スルコトヲ得

國有林野產物賣拂規則第五十五條ノ規定ハ第一號第二號及前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ前項ニ依リ一部解除ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ面積カ事業方法ニ定メタル總面積ノ三分ノ一未滿ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條 前條ノ規定ニ依リ賣拂豫約ヲ解除シタルトキハ開墾者ハ開墾ニ關スル一切ノ費用ノ償還ヲ請求スルコトヲ得ス

第四十四條 開墾者賣拂豫約地上ノ產物ヲ買受ケタル場合ニ於テ國有林野產物賣拂規則第五十三條ノ規定ニ依リ其ノ產物賣拂契約ヲ解除セラレタルトキハ賣拂豫約モ共ニ解除セラレタルモノト看做ス

此ノ場合ニ於テハ國有林野產物賣拂規則第五十五條第一項ノ規定ヲ準用ス

第四十五條 條件付賣拂ニ關シテハ本章ノ規定ノ外第一章中代金延納引渡ノ時期引渡以前ノ處分林野ノ附帶義務ノ承繼目的物ノ錯誤又ハ瑕疵及契約ノ解除ニ關スル規定ニ從フ但シ第二十二條但書ノ規定ハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條 條件附賣拂ヲ受ケタル開墾者第三十七條ノ規定ニ違反シ又ハ成功期限ニ至リ不成功地ヲ

存スルトキハ違約金トシテ不成功地ノ面積ニ比例シタル土地代金ノ半額以內ノ金額ヲ徵收スルコトヲ得

第四十七條 第二十六條第二十七號第三十二條及第三十四條ノ規定ハ沖繩縣ノ林野ニ之ヲ適用セス

第四十八條 明治三十九年勅令第百九十一號第一條ノ特別處分

該林區署長ハ其ノ旨ヲ通告ス同一林野ニ付同條各號ニ掲グルモノアルトキハ第二號ニ掲クル者ヲ先ニス

林野ノ賣拂ト共ニ其ノ產物ノ讓與ヲ爲サムトスルトキハ前項ノ通告ト同時ニ其ノ旨ヲ通告ス此ノ場合ニ於テ讓與ヲ受ケムトスル者ハ賣拂願書ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ

林野賣拂ノ願書ハ通告ヲ爲シタル後ニ非サレハ之ヲ受理セス

第二項ノ產物讓與ハ林野賣拂ノ契約成立セス又ハ其ノ契約ヲ解除シタルトキハ其ノ効力ヲ失フ

第四十九條 第四條第六條第八條乃至第十條及第十七條乃至第二十二條ノ規定ハ前條ノ賣拂ニ之ヲ準用ス

第五十條 第十六條ノ規定ハ明治三十九年勅令第百九十一號又ハ明治四十二年勅令第三百十八號ノ規定ニ依リ代金延納ヲ許可スル場合ニ之ヲ準用ス

第五十一條 第四十八條ノ通告ヲ爲スモ賣拂ヲ了セサルトキハ第一章ノ規定ヲ適用ス

第五十二條 本令ハ大正四年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

第五十三條 本令施行前締結シタル契約ニ付テハ仍ホ從前ノ規定ヲ適用ス

第五十四條 小笠原及伊豆七島ノ國有林野ニ付テハ從前ノ例ニ依ル

第五十五條 不要存置國有林野賣拂規則沖繩縣國有林野整理處分規則及國有林野法施行規則第三章第四章規程ハ之ヲ廢止ス

○國有林野產物ノ隨意契約ニ依ル賣拂ニ關スル件 明治三十二年八月 勅令第三六三號

國有林野產物ハ左ノ場合ニ限り隨意契約ヲ以テ賣拂フコトヲ得

- 一 公用又ハ公益事業ノ爲必要アルトキ
- 二 非常ノ災害アリタル場合ニ於テ其ノ罹災者ニ建築營繕又ハ薪炭ノ材料ヲ賣拂フトキ
- 三 從來ノ慣行ニ依リ薪炭材又ハ副產物ヲ地元人民ニ賣拂フトキ
- 四 委託林野ノ產物ヲ受託者ニ賣拂フトキ
- 五 部分林ノ產物ヲ造林者ニ賣拂フトキ
- 六 社寺ノ建築營繕ノ材料トシテ社寺上地ノ森林ノ產物ヲ其ノ社寺ニ賣拂フトキ
- 七 國有林野ノ事業請負人又ハ國有林野ノ產物買受人ニ其ノ事業ニ必要ナル產物ヲ賣拂フトキ
- 八 採取ノ季節アル副產物ヲ賣拂フトキ
- 九 鑛業ニ必要ナル產物ヲ鑛業人ニ賣拂フトキ
- 十 國有林野法第三條第八條第十一條及第十五條ニ依リ組替賣拂貸付又ハ讓與ヲ爲シタル林野ノ產物ヲ其ノ土地ノ管理者買受人借受人又ハ讓受人ニ賣拂フトキ
- 十一 農商務大臣ノ定ムル資格ヲ有スル重要製產品ノ製造業者ニ其ノ原料ヲ賣拂フトキ
- 十二 施業案ニ基ク斫伐案ヲ施行スル際シ競争契約ニ依ルトキハ森林ノ更新ヲ障害スルノ虞アル場合ニ於テ其ノ森林ノ主產物ヲ農商務大臣ノ定ムル資格ヲ有スル木材業者ニ賣拂フトキ
- 十三 民地官木林ノ產物ヲ其ノ土地ノ所有者ニ賣拂フトキ
- 十四 建築其ノ他ノ用ニ供スヘキ土石ヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ其ノ發見人ニ賣拂フトキ
- 十五 見積價格三百圓ヲ超エサル產物ヲ賣拂フトキ

○官有財産管理規則

明治二十三年十一月
勅令第二七五號

官有財産管理規則

第一條 此ノ規則ニ於テ官有財産ト稱スルハ國ノ所有ニ屬スル土地、森林、原野、營造物家屋船舶及其ノ附屬物トス

第二條 官有財産ハ主管ノ各省大臣之ヲ管理ス

第三條 官有財産ノ賣拂讓與交換及貸付ハ特別ノ規定アルモノヲ除ク外總テ此ノ規則ニ依ルヘシ

第四條 官有財産賣拂代金ハ其ノ財産引渡ノ際一時ニ納付セシムヘシ

第五條 官有財産ヲ貸付スルトキハ其ノ貸付料ヲ徵收スヘシ但シ公益ノ爲官有財産ヲ貸付シ又ハ森林經濟ノ爲森林ヲ貸付スルトキハ別ニ主管大臣ノ定ムル所ノ規則ニ依ル

第六條 官有財産ノ貸付料ハ每年前納セシムヘシ若シ前納スル能ハサルトキハ相當ノ保證ヲ出サシムヘシ

貸付財産ノ修理其ノ他ノ費用ヲ負擔スル方法ハ貸付契約ヲ爲ストキ之ヲ定ムヘシ

第七條 官有財産ノ貸付ハ左ノ期限ヲ超ユルコトヲ得ス

第一 樹木培養ニ供スル土地ハ八十年以内

第二 農工其ノ他ノ營業及住居ニ供スル土地ハ三十年以内

第三 土地森林ノ使用權ハ十五年以内

第四 右ニ掲ケサル物件ハ三年以内

第八條 官有財産ノ貸付期限中政府ニ於テ之ヲ國ノ使用ニ供スルノ必要アルトキハ貸付ノ契約ヲ解キ之ヲ返還セシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ借受人ハ其直接ニ受ケタル損失ニ付賠償ヲ求ムルコトヲ得

第九條 官有財産ノ借受人ニシテ主管大臣ノ許可ヲ得スシテ其ノ財産ノ原形ヲ變更シ若ハ故意怠慢

ニ依リ之ヲ荒廢ニ歸シ又ハ毀損亡失シタルトキハ主管大臣ハ其ノ損失ヲ賠償セシムヘシ

第十條 官有財産ノ借受人ハ主管大臣ノ許可ヲ得ルニアラサレハ其ノ財産ヲ他人ニ轉貸スルコトヲ得

第十一條 官有財産ヲ以テ他人ノ所有物ト交換スルコトヲ得ルハ同一種類ノ財産ニシテ少クトモ評定

價格相均シキモノニ限ル

森林原野田畑ハ同一種類ノ財産ト見做スコトヲ得

營造物家屋船舶及其ノ附屬物ハ他人ノ所有物ト交換スルコトヲ得

第十二條 府縣郡市町村公共組合公共ノ道路公園市場河川並木敷堤塘溝渠溜池敷等ノ用ニ供スル爲官

有ノ土地森林ヲ必要トスルトキハ主管大臣ニ於テ之ヲ其ノ府縣郡市町村ニ讓與スルコトヲ得

第十三條 府縣郡市町村公共組合ニ於テ新ニ道路公園市場河川並木敷堤塘溝渠溜池等ヲ開設シ爲ニ不

用ニ歸シタル官有ノ舊同種類ノ土地ハ内務大臣ニ於テ其ノ府縣郡市町村ニ讓與スルコトヲ得但シ官

林内若クハ官廳テ使用地内ニ包含セルモノ又ハ他ノ官有財産保護上離權シ難キモノハ此ノ限ニアラス

第十四條 官有財産ヲ賣拂貸付若ハ交換スル場合ニ於テ其ノ財産ヲ管理シ若ハ其ノ取扱ヲ爲ス官吏ハ

之ヲ買受ク又ハ自己ノ所有物ト交換スルコトヲ得

第十五條 此ノ規則施行ノ前ニ官有財産ノ賣拂若ハ貸付ノ契約ヲ爲シタルモノハ其ノ契約ノ滿期迄總

テ舊契約ニ依ルヘシ

第十六條 各省大臣ハ毎年其ノ年三月三十一日ニ現在スル所管官有財産ノ目錄ヲ調製シ其ノ年開會

ノ帝國議會ニ報告ノ手續ヲ爲スヘシ

第十七條 各省大臣ハ每會計年度間ニ於ケル所管官有財産ノ増減異動報告書ヲ調製シ翌年度開會ノ帝

國議會ニ報告ノ手續ヲ爲スヘシ

但シ國防用防禦營造物ハ此ノ限ニアラス

第十八條 第十六條ノ目錄及第十七條ノ報告書ハ其ノ事由ニ依テ同列シ左ノ事項ヲ示スヘシ

第一 買入ニ係ルモノハ其ノ代價

第二 賣拂ニ係ルモノハ各廳ニ於テ定メタル最低賣價實際ノ賣拂代價及目錄價格アルモノハ其ノ價格

第三 讓與交換又ハ亡失毀損等ニ係ルモノハ其ノ目錄價格

第四 交換ニ係ルモノハ其ノ交換ニ依テ得タル財產

第五 買入又ハ賣拂ノ契約ニ特別ノ條件アルモノハ其ノ條件

第十九條 此ノ規則第十六條ニ掲ケル官有財產ノ目錄ニシテ第一回ノモノハ明治二十四年三月三十一日ノ現在高ヲ以テ同年六月三十日マテニ之ヲ調製スヘシ但シ調査未濟ノ官有財產ハ調査ヲ了ルマテ

其ノ概算ヲ目錄ニ掲クヘシ

第二十條 此ノ規則ハ明治二十四年四月一日ヨリ施行ス

○大林區署長及小林區署長ノ權限ニ關スル件 明治四十年一月訓令第一號明治四十一年同四十二年同四十二年同四十二年大正三年改正

第一條 大林區署長及小林區署長ノ權限ハ別段ノ定メアルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 大林區署長ハ左ニ掲ケル事項ヲ專決處分スルコトヲ得但シ特ニ重要ノ關係アルモノ又ハ事ノ

異例ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス

一 管内ヲ旅行シ又ハ署員ニ管内ノ旅行ヲ命シ若ハ判任官以下ノ署員ニ管外ノ旅行ヲ命スルコト

一ノ二 高等官タル署員ニ訴訟ノ爲又ハ裁判所ノ證人參考人若クハ鑑定人トシテ大林同署管外ノ旅行ヲ

命スルコト

二 小林區署長及其ノ署員ニ小林區署管外ノ旅行ヲ命スルコト

三 判任官以下ノ署員及小林區署長ニ看護歸省墓參轉地療養又ハ旅行願ヲ許可シ及其ノ除服出世ヲ

命スルコト

三ノ二 判任官年未賞與ノコト

四 月俸三十圓又ハ日給一圓ヲ超エサル雇員ノ命免及賞與ノコト

五 課長ヲ除クノ外署員ノ事務分擔ヲ定ムルコト

六 判任官タル小林區署長ヲ命免シ及小林區署員ノ在勤ヲ命免スルコト

七 判任官以下受験願ノコト

八 療治料及死傷手當給與ノコト

九 (削除)

十 金額百圓ヲ超エサル手當又ハ謝金ヲ要スル事務囑託ノコト

十一 公共團體學校又ハ展覽會等ニ參考品ヲ貸與又ハ出陳スルコト

十二 寄贈ノ圖書標本種苗等ノ領收及其ノ領收證又ハ謝狀發送ノコト

十三 一廉金五百圓ヲ超エサル印刷物ノ調製物件ノ買入借入運搬修繕職工人夫ノ雇傭及一廉金千圓

ヲ超エサル建設物ノ營繕及一廉金千圓ヲ超エサル新營ノコト

十四 金額又ハ金額ヲ定ムヘキ準率ノ定マリタル違約金辨償金又ハ金額五十圓ヲ超エサル辨償金徵

收ノコト

十五 不用物品賣拂ノコト

十六 工事及物件ノ賣買貸借ニ關シ豫定價格指定ノコト

十七 官吏出張先ニ於テ公務ニ關スル通信運搬等金額百圓以内處理ノコト

十八 巡視給仕小使及定夫ノ傭罷及賞與ノコト

十九 違約金辨償金徵收ノコト

二十 同一市町村内ニ於ケル小林區署及保護官舎ノ位置變更並之ニ基ク保護區ノ名稱及町村名稱變

更ニ基ク保護區名稱變更

- 二十ノ二 保護區ノ廢合並ニ其ノ區域變更ノコト
- 二十ノ三 保護區官舎ノ位置及保護區名稱變更ノコト
- 二十一 出版圖書ノ送付配達及著作權登錄等ノコト
- 二十二 一廉金十圓ヲ超エサル木材見本配與ノコト
- 二十三 國有林野ニ關シ警察上特ニ功勞アル者ニ金額二十圓ヲ超エサル慰勞金ヲ給與シ又ハ慰勞狀ヲ下附ノコト
- 二十四 建物貸付ノコト
- 第三條 大林區署長前條ニ依リ左ニ掲クル處分ヲ爲シタルトキハ其ノ都度遲滯ナク之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ
 - 一 前條第一號ノ二ニ依リ高等官タル署員又ハ第二號ニ依リ小林區署長ニ大林區署管外ノ旅行ヲ命シタルトキ
 - 二 前條第六號ニ依リ小林區署長ヲ命免シタルトキ
 - 三 前條第二十號乃至第二十號ノ三ニ依ル處分ヲ爲シタルトキ
 - 四 前條第三號ノ二ニ依リ賞與ヲ行ヒタルトキ
 - 五 緊急ノ場合ニ訴訟ヲ提起シタルトキ
- 第四條 大林區署長ハ左ニ掲クル事項ニ付テハ特ニ經伺ノ上之ヲ處分スヘシ
 - 一 訴訟提起ノコト但シ公訴附帶ノ私訴又ハ確定判決ニ基因スル民事訴訟及未納金ニ關スル訴訟其ノ他緊急ノ場合ニ於ケル訴訟ハ此ノ限ニ在ラス
 - 二 訴訟物ノ價格五十圓以上ノ訴ノ取下和解拋棄及認諾
 - 三 謝金二百圓ヲ超ユル辯護士委任ノコト
 - 四 損害賠償ノ請求ニ應スルコト
 - 五 特ニ契約ノ條件ニ付經伺若ハ指揮ヲ受ケテ締結シタル契約ノ變更及解除ノコト但其ノ條件以外

六 變更ヲ除ク前各號ノ外大林區署長ノ權限ニ屬スル事項ニシテ重要ノ關係アルモノ又ハ事ノ異例ニ屬スルモノノ處分ノコト

第五條 小林區署長ハ左ニ掲クル事項ヲ專決處分スルコトヲ得但シ特ニ重要ノ關係アルモノ又ハ事ノ異例ニ屬スルモノハ此ノ限ニアラス

- 一 管内ヲ旅行シ又ハ管内ノ旅行ヲ命スルコト
- 二 左ノ場合ニ於テ管外ニ旅行シ又ハ署員ニ管外旅行ヲ命スルコト
 - (一) 臨時緊急ノトキ
 - (二) 訴訟ノ爲又ハ證人參考人鑑定人トシテ裁判所ニ出廷ノトキ
 - (三) 裁判所又ハ檢事局ノ命令若ハ要求ニ依リ現場ニ出張ノトキ
 - (四) 刑事被告人護送ノトキ
 - (五) 林産物品會計規程ニ依レル林産物ノ現況調査又ハ出納ノ爲必要アルトキ
 - (六) 現今拂込前渡金受領ノ爲金庫所在地ニ出張ノトキ
- 三 署員ニ看護歸省墓參轉地療養及旅行願ヲ許可シ及其ノ除服出仕ヲ命スルコト
- 四 月俸十五圓又ハ日給五十錢以下ノ雇員命免ノコト
- 五 製材所巡視、給仕小使ノ採用及解免ノコト
- 五ノ二 日給七拾錢以下ノ製材所職工定夫人夫ノ傭罷及製材職工規則第十二條ノ證明書下付ノコト
- 六 署員事務分擔ヲ定ムルコト
- 七 森林主事ニ保護區官舎詰命免ノコト
- 八 雇員受驗願ノコト

- 九 一廉金二十圓ヲ超エサル印刷物ノ調製物件ノ買入借入運搬修繕職工人夫ノ雇傭及三十圓ヲ超エサル新營ノコト
- 十 一箇金十圓ヲ超エサル不用物品賣拂ノコト
- 十一 一廉金五圓ヲ超エサル寫字料公告料保管料ヲ要スル事項
- 十二 (削除)
- 十三 (削除)
- 十四 金額又ハ金額ヲ定ムヘキ準率ノ定マリタル違約金辨償金徴收ノコト
- 十五 金額五圓ヲ超エサル謝金ヲ要スル木取評定囑託ノコト
- 十六 警察上功勞顯著ナル者ニ金額十圓ヲ超エサル慰勞金給與ノコト
- 小林區署長前項ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ都度遲滞ナク之ヲ大林區署長ニ報告スヘシ但シ第一號第六號條又ハ第十三號ニ依ル場合ハ此ノ限ニアラス
- 第五條ノ二 小林區署長前條第二號第四號第七號及第十六號ノ處分ヲ爲シタルトキハ其ノ都度遲滞ナク大林區署長ニ報告スヘシ
- 附則
- 第六條 本令ハ明治四十年二月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 第七條 林區署事務章程ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

○保安林施業規程

大正五年十月十三日 栃木縣令第二十六號

- 第一條 保安林ハ施業通達書一通毎ニ施行ヲ爲スヘシ但シ接續セル同種類ノ保安林ニ於テ行フ伐木施業ニシテ所有者同一ナルカ又ハ所有者異ナルモ各合意ノ上更新終了迄合同施業ヲ爲サムトスルトキハ施業通達書二通以上合併シテ一施業ヲ爲スコトヲ得
- 第二條 保安林ノ伐採ハ擇伐法ニ依ルヘシ但シ保安林ノ目的ヲ害セサル程度ニ於テ林種ノ改良其ノ他必要ナル目的ノ爲一部ノ皆伐ヲ許可スルトアルヘシ
- 第三條 保安林一箇年間ノ伐採面積ハ輪伐齡ヲ以テ立木地全面積ヲ除シタル商以内トシ隔年作業ニ在リテハ其ノ商ニ隔年ノ年數ヲ乘シタル積ヨリ大ナルコトヲ得ス但シ隔年ノ年數ハ喬林ニ在リテハ十箇年以内、矮林ニ在リテハ五箇年以内トス
- 第四條 伐採區域ハ擇伐作業ニ在リテハ伐採面積ノ三倍以上タルヘシ
- 第五條 保安林ノ輪伐齡ハ左ノ標準ニ依ルヘシ但シ森林法第二十七條ノ規定ニ依リ之ヲ指定セラレタルモノハ此ノ限リニ在ラス
- 喬林 三十年以上
- 矮林 十年以上
- 中林 上木三十年以上、下木十年以上
- 竹林 四年以上
- 第六條 保安林ノ開墾ハ之カ爲森林タル状態ヲ失ハサル程度ニ非サレハ之ヲ行フコトヲ得ス
- 第七條 保安林施業上必要アリト認ムルトキハ期間ヲ定メテ施業案ノ編成ヲ命スルコトアルヘシ
- 第八條 保安林ニ於テ左ノ作業ヲ爲サムトスルトキハ第一號乃至第四號様式ニ依リ着手六十日前ニ知事ニ出願シ許可ヲ受クヘシ但シ砂防工事ニ使用スル爲特ニ知事ノ指定シタルトキ及特種ノ事情アル場合ハ此ノ限リニ在ラス

- 一 木竹ノ伐採、傷害
- 二 土石、切芝、樹根、草根、埋木ノ採取若ハ採掘
- 三 家畜ノ放牧
- 四 開墾

第九條 保安林ニ於テ開墾及土石、切芝、樹根、草根、埋木ノ採取若ハ採掘ヲ爲サムトスルトキハ前條願書ノ外公害豫防設計書並ニ設計圖面ヲ添付スヘシ

第十條 木竹ノ伐採ニシテ合同施業ヲ爲サムトスルトキハ第五號様式ニ依リ知事ニ出願スヘシ

第十一條 保育ノ爲爲ス木竹ノ伐採又ハ枯木竹、損木竹、危險木竹若ハ支障木竹ノ伐採ハ木竹伐採ノ禁止又ハ施業方法ノ指定ニ拘ラス之ヲ許可スルコトアルヘシ但其ノ保安林ノ目的ヲ害スル虞アル場合ハ此ノ限リニ在ラス

第十二條 第五條ノ規定ニ依リ伐採ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ第六號様式ニ依リ知事ニ出願スヘシ

第十三條 第八條乃至第十二條ノ施業期間ハ一箇年ヲ超ユルコトヲ得ス但シ實地ノ狀況ニ依リ事情止ムヲ得サル場合ハ特ニ一箇年以上ニ亘リ許可スルコトアルヘシ

第十四條 保安林編入ニ關シ告示アリタル土地ニ於テ施業ヲ爲サムトスル者ハ第九條乃至第十二條ニ準シ知事ニ出願スヘシ

前項ニ依リ施業ノ許可ヲ受ケタル後保安林編入ノ決定アリタルトキハ其ノ殘部ノ施業ニ限リ本規程ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十五條 森林法第二十五條ノ規定ニ依リ伐採ヲ停止シタル森林ニ於テ保育又ハ已ムヲ得サル事由ノ爲伐木ヲ爲サムトスル者ハ第一號様式ニ準シ知事ニ出願スヘシ

第十六條 本規定ニ依リ提出スヘキ書類ハ地元町村長ヲ經由スヘシ

第十七條 本規程ニ依リ許可ヲ受ケタル施業ト雖指定ノ保護、防備ヲ怠リ又ハ其ノ施業カ公害ノ虞アリト認めタルトキハ施業期間中ト雖之ヲ停止スルコトアルヘシ

明治四十一年栃木縣令第六十號ハ之ヲ廢止ス

第一號様式

保安林擇伐(皆伐)(傷害)施業願

所 在 地 番

保 安 林 種 地 番

全 面 積

樹 種 及 樹 齡

樹 種 閉 鎖 度

樹 種 及 樹 齡 中(密)(疎)

雜 木(杉、扁柏)(杉何分、雜木何分)何年生(何年生ヨリ何年生迄)

杉何年生何本(雜木何年生何本)

何町何反何畝何歩

何町何反何畝何歩

何町何反何畝何歩

山嶺(山腹又ハ山麓)ニ位シ平均傾斜何度

自大正何年何月至大正何年何月

大正何年何月迄ニ杉ヲ植栽ス(天然生ヲ保護撫育シ成林セシム)

前記ノ通擇伐(皆伐)(傷害)施業致度候ニ付御許可相成度別紙圖面添付ノ上此段相願候也

年 月 日

施 業 人

森 林 所 有 者

土 地 所 有 者

住 所

住 所

住 所

氏 氏 氏

名 名 名

印 印 印

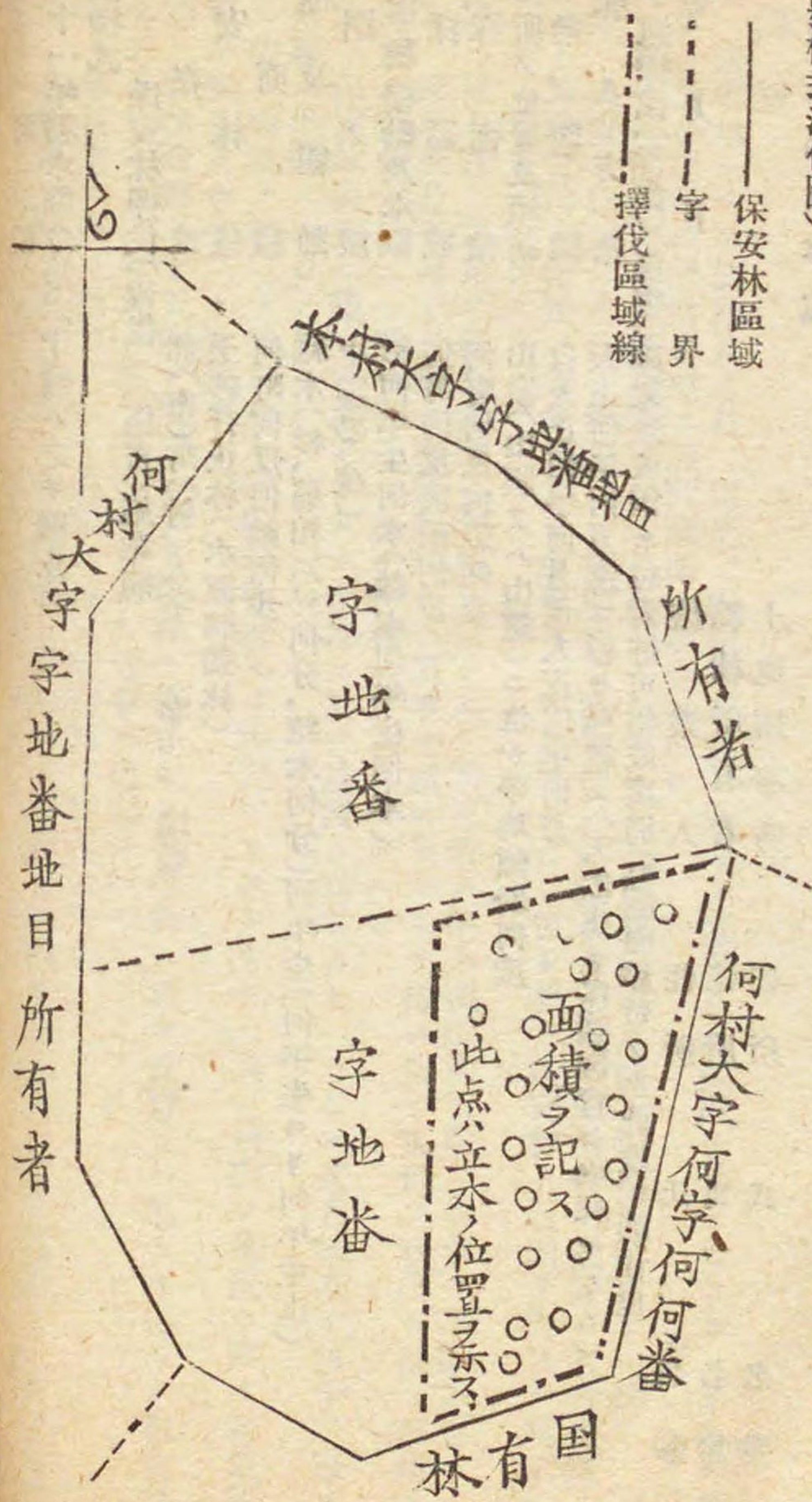
栃木縣知事宛

備 考

一 伐採本數及伐採區域ハ皆伐施業ノ際ハ記入ヲ要セス

二 施業人ニシテ森林所有者、土地所有者、同一ナルトキハ並記シテ下ニ氏名ヲ記載スヘシ
 三 土地カ公有ニ屬スルトキハ管理者社寺有ナルトキハ氏子、崇敬者若ハ檀徒、信徒總代連署ヲ要ス
 (第一號樣式添付圖)

五九四



第二號樣式

保安林土石(切芝、樹根、埋木)採取(採掘)願
 所 在 地 番
 保 全 林 種 地 番
 採 取 (採 掘) 地 面 積 況 積 種 地 番
 採 取 (採 掘) 物 種 類 及 數 量
 採 取 位 置 (採 掘) 地 番
 採 取 傾 斜 度 何 度
 採 取 期 間 自 大 正 何 年 何 月 至 大 正 何 年 何 月
 採 取 前 記 ノ 通 土 石 (切 芝、樹 根、草 根、埋 木) ノ 採 取 (採 掘) 致 度 候 二 付 御 許 可 相 成 度 別 紙 圖 面 (並 二 設 計 書) 添 付 ノ 上 此 段 相 願 候 也
 年 月 日

施業人住所氏名
 森林所有者住所氏名
 土地所有者住所氏名

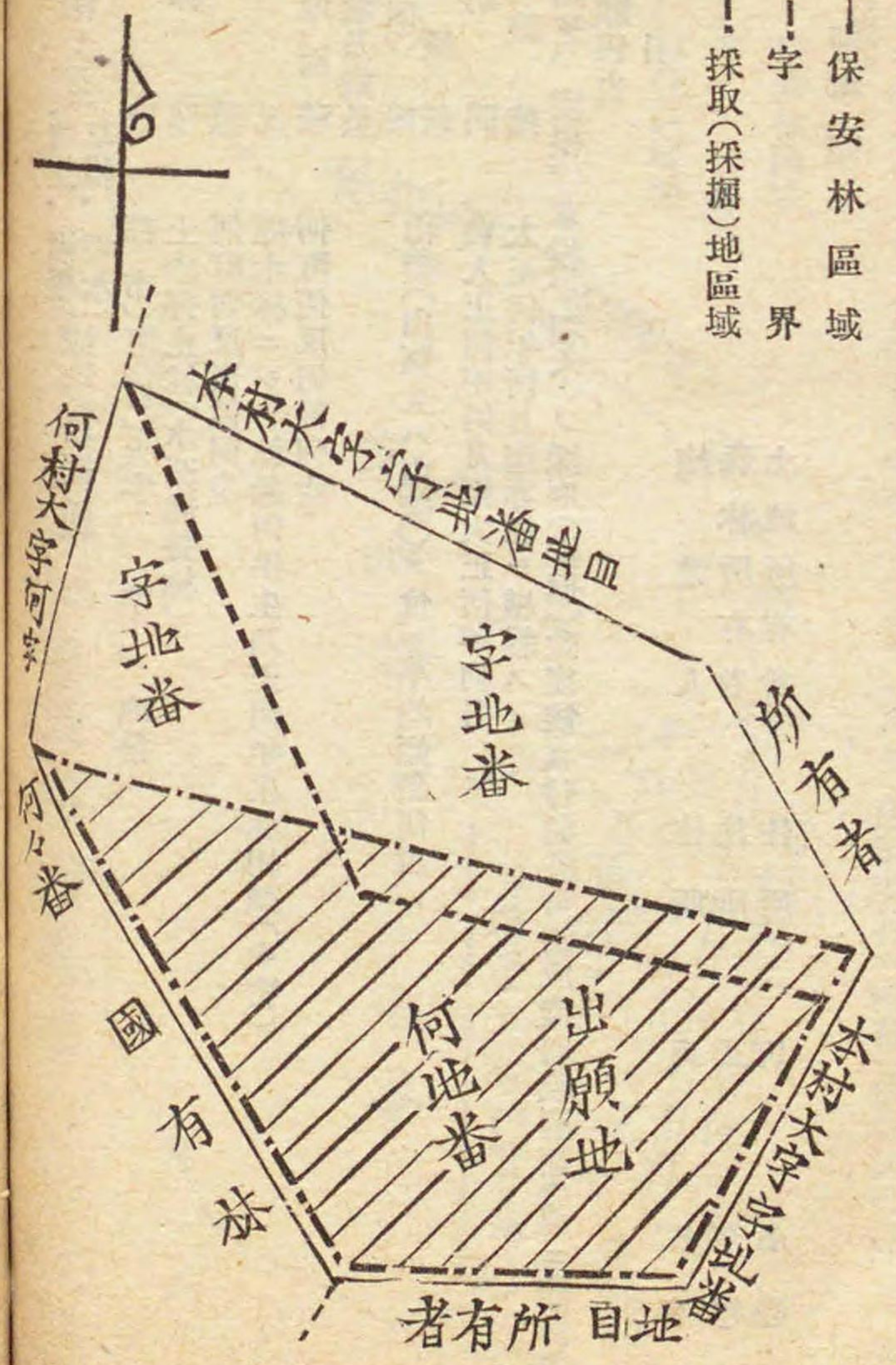
栃木縣知事宛
 備考

第一號樣式備考記載事項ニ同シ

五九五

(第二號樣式) 保安林土石(切芝、樹根、草根、埋木)採取(採掘)願圖

—— 保安林區域
 - - - 字界
 - · - · 採取(採掘)地區



第三號樣式

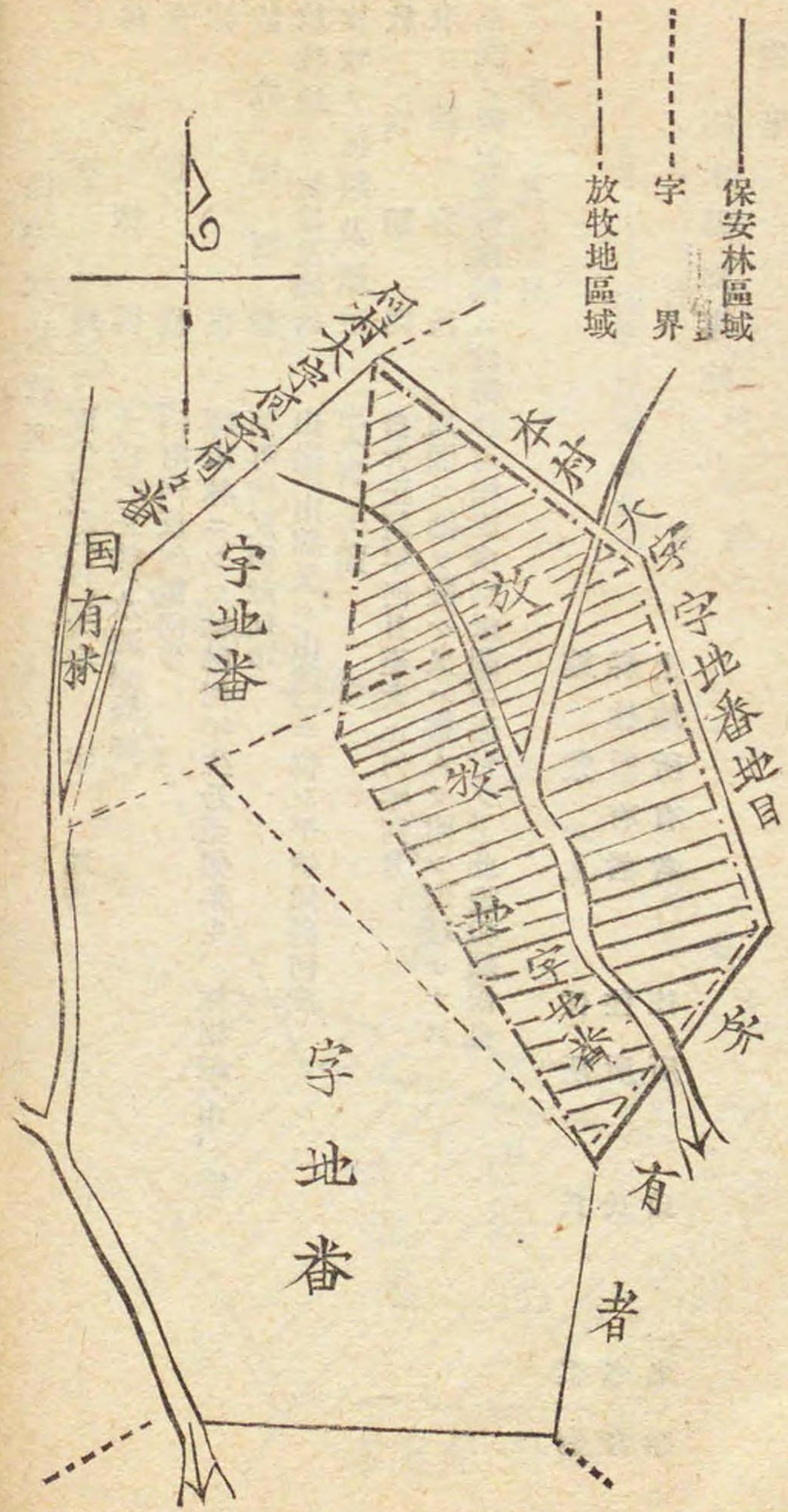
保安林放牧願
 在 地 郡(市)町(村)大字 字 地番
 安 林 種 土砂并止林(水源涵養林)
 面 積 何町何反何畝何步
 全 林 況 雜木林ニシテ林齡何年生乃至何年生、林相疎(中、密)
 放 牧 地 何町何反何畝何步
 放 牧 地ノ位置及傾斜
 放 牧ノ種類及頭數
 放 牧 期 間 自大正何年何月至大正何年何月
 取 締 方 法 周圍ニ柵ヲ設ケ又ハ番人ヲ附シ取締ヲナス
 前記ノ通放牧致度候ニ付御許可相成度別紙圖面添付ノ上此段相願候也
 年 月 日

施業人 住所 氏名
 森林所有者 住所 氏名
 土地所有者 住所 氏名
 印 印 印

栃木縣知事宛

備考 第一號樣式備考記載事項ニ同シ

(第三號樣式 保安林放牧願ニ添付スヘキ圖)



第四號樣式

保安林開墾願
 所在地 郡(市)町(村)大字 字 地番
 保安林種類 土砂并止林(水源涵養林)
 全地面積 何町何反何畝何歩
 開墾地面積 何町何反何畝何歩
 開墾目的 小屋掛、用材置場、造林用樹苗圃、鑛口開墾、等森林タル實質ヲ失ハサルモノ
 開墾期間 自何年何月何日(一定ノ期間アルモノ、ミ)
 林位及傾斜 雜木林ニシテ林齡何年生乃至何年生、林相疎(中、密) 山腹(山嶺、山麓)ニ位シ何々川(道)ヲ去ル何間平均傾斜何度
 右ノ通開墾致度候ニ付御許可相成度別紙圖面添付此段相願候也
 年 月 日

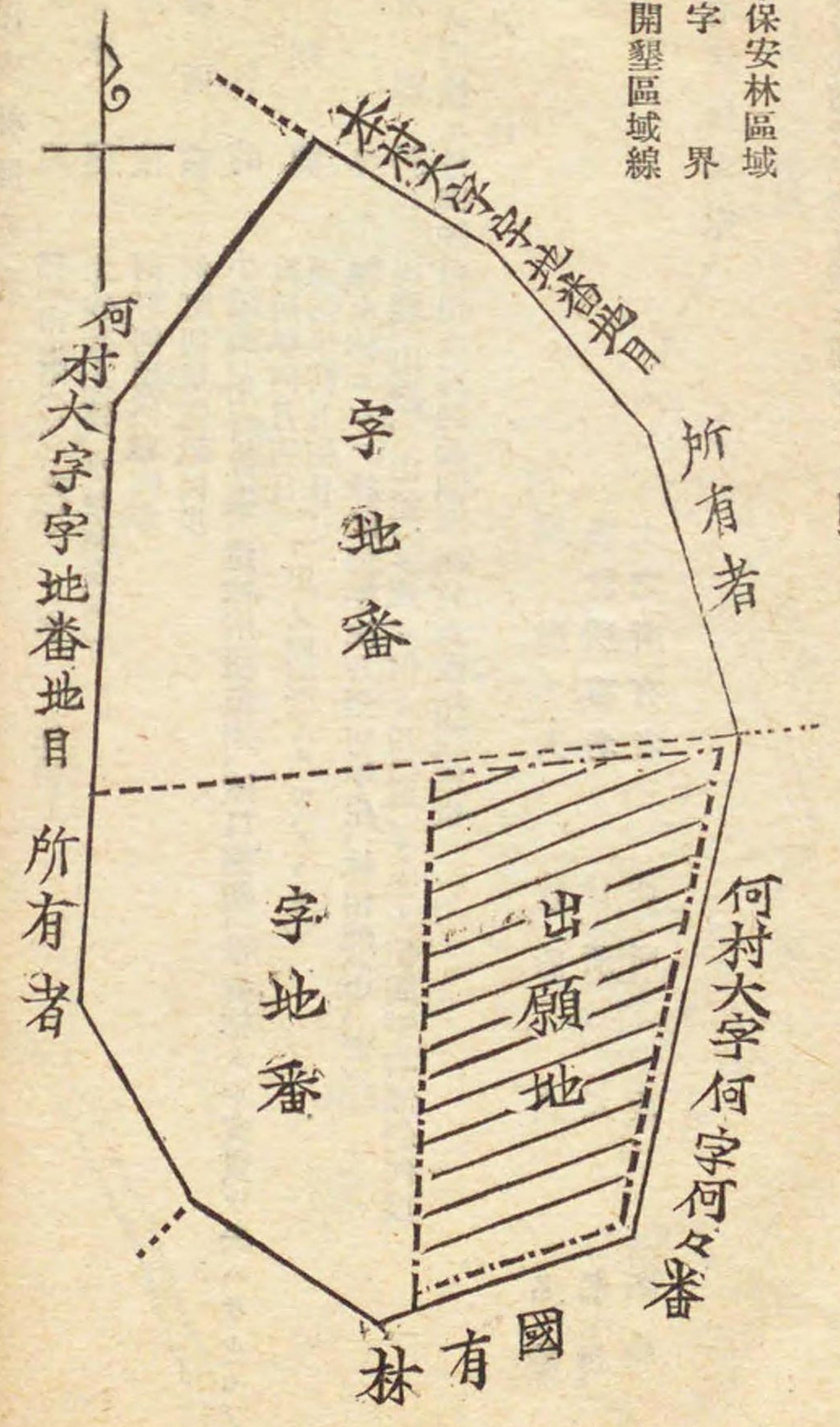
施業人 住所 氏名
 森林所有者 住所 氏名
 土地所有者 住所 氏名

栃木縣知事宛
 備考

第一號樣式備考記載事項ニ同シ

(第四號樣式 保安林開墾願ニ添付スヘキ圖)

—— 保安林區域
 - - - - 字 界
 - - - - 開墾區域線



第五號樣式

保安林合同施業願

郡(市) 町大字 字

一保安林何町何反何畝何步

郡(市) 町大字 字

一保安林何町何反何畝何步

前記ノ保安林ヲ(各所有者合意ノ上)更新終了迄合同施業致度候ニ付御許可相成度別紙施業書並ニ圖面添付此段相願候也

年 月 日

所有者 某

所有者 某

出願人代表者
 關係人

氏氏氏

名名名
 (印)(印)(印)

栃木縣知事宛

備考 第一號樣式備考記載事項ニ同シ

保安林種 土砂打止林(水源涵養林)

全 面 積 何町何反何畝何步 (杉何分、雜木何分)何年生(何年生ヨリ何年生迄)

樹種 及 樹齡 雜木(杉、扁柏) (杉何分、雜木何分)何年生(何年生ヨリ何年生迄)

伐木ノ樹種樹齡及本數 杉何年生何本(雜木何年生何本)

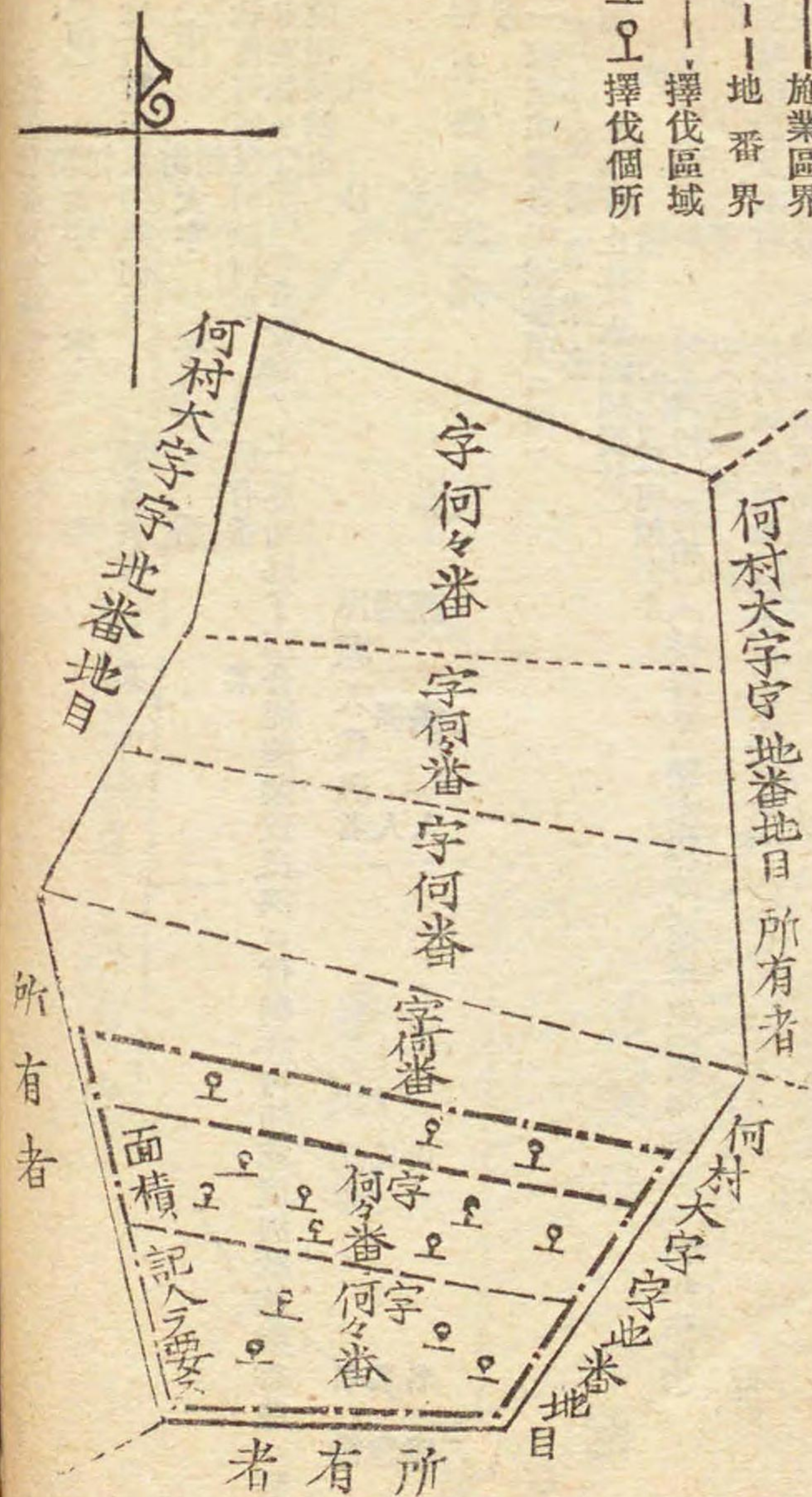
伐採ノ位置及傾斜 何町何反何畝何步

施業ノ位置及傾斜 何町何反何畝何步

(第五號樣式添付圖)

造林ノ方法
 施業區界
 地番界
 擇伐區域
 擇伐個所

大正何年何月迄ニ杉ヲ植栽ス(天然生ヲ保護撫育シ成林セシム)



第六號樣式

保安林保育伐木(竹)願

所在 地番
 保安林 種地
 面積 積種
 保育ノ目的 何町何反何畝何歩
 手入區域 間伐又ハ枯損木竹(危險木竹、支障木竹)ノ伐採
 手入區域 何町何反何畝何歩
 林況 雜木林ニシテ林齡何年生乃至何年生林相疎、(中)(密)
 手入區域位置及傾斜 山嶺(山腹又ハ山麓)ニ位シ平均傾斜何度
 旅業 期 自大正何年何月至大正何年何月
 伐木 種數 量 杉何年生何本(雜木何年生何本)
 前記ノ通保育ノ爲伐木(竹)致度候ニ付御許可相成度別紙圖面添付ノ上此段相願候也
 年 月 日

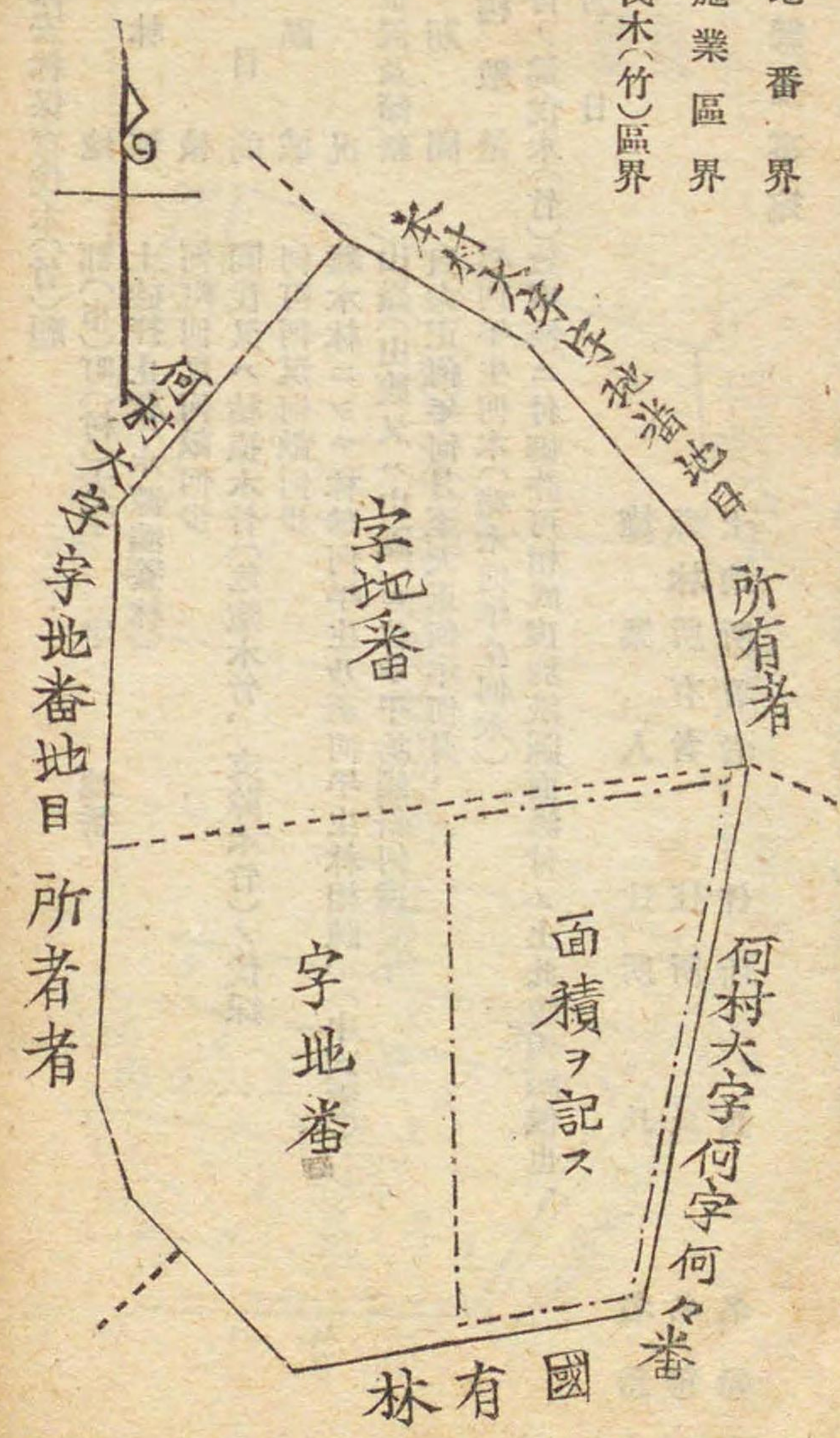
施業人 住所 氏名
 森林所有者 住所 氏名
 土地所有者 住所 氏名

栃木縣知事宛
 備考

第一號樣式備考記載事項ニ同シ

(第六號樣式添付圖)

地番界
施業區界
伐木(竹)區界



大正五年十月二十一日印刷
大正五年十月二十五日發行

栃木縣內務部

印刷者 宇都宮市杉原町三二六四番地 阿部善藏

印刷所 宇都宮市杉原町三二六四番地 下野印刷株式會社

